

広報



あ 海 ま

平成19年

11

No. 409

◆編集発行 島根県隠岐郡海士町役場
TEL (08514) 2-0111

◆印刷 信栄堂印刷(海士町菱浦)
Eメール: info@town.ama.shimane.jp



町の人口世帯数

総人口 2,444人 (-7)
 男 1,151人 (-8)
 女 1,293人 (+1)
 世帯数 1,103世帯(+3)
 住民基本台帳(10月末現在)
 ()内は8月末との比較

文化かある秋

第37回海士町産業文化祭が10月27日～28日にかけて隠岐開発総合センター周辺を会場に行われました。初日は店舗オープン前から新鮮な農産物や、漁類を買いたい人達で賑わいました。また、メイン会場となるセンター内では、手芸、絵画、生花、書道など芸術あふれる作品の数々を魅了することができました。

2日目の芸能祭では、小学生からお年寄りの方々が日頃の練習の成果を堂々と発表し、観客に感動を与えた一時でした。

(関連記事P7掲載)

主な内容

- 集中改革プランの実施状況他..... 2～3
- まちの話題..... 4～9
- 議会だより..... 10～13
- 教育だより..... 14～18
- P J 関連事業..... 19
- 隠岐島前高校だより..... 20
- お知らせ..... 21
- 戸籍の窓..... 22

集中改革プランの実施状況について

海士町自立促進プラン及び海士町行財政改革大綱を着実に実施するため、「集中改革プラン」を策定、実施しています。（期間 平成18年度から22年度までの5年間）

平成17年度、18年度の成果及び効果についてお知らせします。

1、民間委託等の推進

平成18年度26の施設に指定管理者制度を導入、行政サービスの向上と経費の削減を行いました。

2、定員の適正化

平成17年4月1日現在の職員数は73名、期間内に69名（△4名）を目指していますが、平成19年4月1日現在68名と目標を達成していません。

3、給与の適正化

人件費の大幅なカットにより財政状況は改善しました。平成19年4月1日のラスパイレス指数は77・9（島根県町村平均91・8）と全国でも最低水準に位置しています。

4、経費削減等の効果

下記別表のとおり、平成17年度1億6、700万円、平成18年度1億6、900万円を削減しました。

別表 経費節減等の財政効果

(単位：百万円)

項 目	平成17年度計画額	平成17年度実績額	平成18年度計画額	平成18年度実績額
使用料・手数料の見直し	3	2	3	2
その他		3		3
歳 入 計	3	5	3	5
人 件 費 削 減	職員削減		65	72
	給与削減		72	65
	その他		10	9
	計	154	147	154
施設等維持費の見直し	11	9	11	6
補助金等の整理合理化	1	1	1	6
内部管理経費の見直し	7	2	7	1
その他事務事業の整理合理化				
その他	8	3	8	5
歳 出 計	181	162	181	164
合 計	184	167	184	169

隠岐牛健闘！ 全国和牛能力共進会結果

平成19年10月11日から14日にかけて鳥取県米子市で行われた全国和牛能力共進会において、海士町で生まれた隠岐牛が活躍し立派な成績を修めました。結果は、下記のとおりです。

- ◆ 第1区【若雄(24ヶ月未満)の部】優等賞第7席(21頭中)
はまはな
 浜花号 素牛生産者：奥田延広（海士町福井）
- ◆ 第8区【種雄牛(スサノオ)産子肥育牛群の部】優等賞第7席(21組中)
かわかいそ
 川海素 素牛生産者：川本豊子（海士町福井）

生産者の皆様方の今後、益々のご活躍をお祈りいたします。誠におめでとうございました。



浜花が審査を受ける様子。



財政状況の公表

平成19年度
上半期(4月～9月)

一般会計予算 37.7% を執行

海士町では、毎年6月と11月の2回、町民のみなさんに町政に対する理解を深めていただくため、財政状況を公表しています。今回は平成19年度上半期(4月1日～9月30日)の一般会計についてのお知らせします。

1. 予算の執行状況

【歳入】

(単位:千円)

項 別	予算現額 (A)	収入済額 4月～9月 (B)	収入率 (%) B/A
町税	196,492	100,849	51.3
地方譲与税	25,500	7,365	28.9
利子割交付金	1,000	400	40.0
配当割交付金	300	296	98.7
株式等譲渡所得割交付金	1	0	0.0
地方消費税交付金	18,800	13,424	71.4
自動車取得税交付金	8,700	2,203	25.3
地方特例交付金	115	1,132	984.3
地方交付税	2,100,568	1,378,714	65.6
交通安全対策特別交付金	1	0	0.0
分担金及び負担金	59,155	14,415	24.4
使用料及び手数料	58,888	22,144	37.6
国庫支出金	656,602	14,290	2.2
県支出金	262,587	31,568	12.0
財産収入	17,254	4,606	26.7
寄付金	3,700	515	13.9
繰入金	13,500	0	0.0
繰越金	16,705	16,705	100.0
諸収入	59,742	6,705	11.2
町債	822,300	71,800	8.7
歳入合計	4,321,910	1,687,131	39.0

【歳出】

(単位:千円)

項 別	予算現額 (A)	支出済額 4月～9月 (B)	執行率 (%) B/A
議会費	31,369	15,681	50.0
総務費	466,131	195,965	42.0
民生費	394,379	184,743	46.8
衛生費	336,028	205,600	61.2
労働費	45	40	88.9
農林水産業費	831,589	169,914	20.4
商工費	345,760	211,573	61.2
土木費	305,216	73,633	24.1
消防費	90,391	43,368	48.0
教育費	168,909	66,229	39.2
災害復旧費	234,264	15,526	6.6
公債費	1,105,151	449,003	40.6
諸支出金	3,478	106	3.0
予備費	9,200		0.0
歳出合計	4,321,910	1,631,381	37.7

予算現額とは、当初予算に6月、9月補正予算と18年度からの繰越予算を合算した額です。
事業の財源である歳入の国庫支出金と町債の収入率が極端に低くなっているのは、事業の実績により年度後半に収納されるためです。また、歳出も事業の完了後に支出されることから、毎年、下半期に集中する傾向にあります。

2. 住民の負担の概況(税金)

(単位:円)

税金	予算額	4月～9月收入額	平均負担額
町民税(個人)	80,531,000	30,177,866	12,353
町民税(法人)	8,520,000	3,926,000	118,970
固定資産税	84,220,000	53,889,780	22,059
軽自動車税	6,365,000	6,266,400	2,565
たばこ税	15,856,000	6,588,798	2,697
入湯税	1,000,000	0	0

※ 平均負担額:海士町住民登録人口 2,443 人による平均値です。また、町民税(法人)については、33事業所による平均値です。(いずれも平成19年9月30日現在)

軽自動車台数(参考)

原動機付自転車	420台
自動二輪車	5台
軽自動車	1083台
農耕作業用自動車	109台
小型特殊車	22台
二輪の小型自動車	1台
合計	1640台

※この4月1日現在の台数に軽自動車税が賦課されます。

3. 財産及び地方債の現在高

【財産】

○土地及び建物 (単位:㎡)

区分	面積
土地	1,399,935
建物	88,569

○有価証券 (単位:円)

名称	金額
株券(隠岐汽船)	16,425,000
株券(山陰中央新報社)	150,000

【地方債の現在高】

○地方債 (単位:円)

借入先	現在高
政府資金	7,146,735,423
公営企業金融公庫	246,524,371
銀行	81,393,000
その他の金融機関	555,916,258
その他(島根県)	299,615,421
合計	8,330,184,473

○基金の状況 (単位:円)

名称	積立金
財政調整基金	20,692,273
減債基金	343,138,398
ふるさと創生基金	23,733,628
町史編纂基金	3,901,035
土地開発基金	64,465,655
人材育成基金	54,034,128
福祉基金	126,299,923
水と土保全基金	6,293,590
中山間地域活性化推進基金	29,289,608
合計	671,848,238

町では、最小の経費で最大の効果を上げるよう創意工夫し、効率的、計画的に予算を執行しています。皆さまのご理解とご協力をお願いします。

人命保護と被害の軽減に
寄与するため、

道路反射鏡(カーブミラー)の寄贈

隠岐どうぜん農業協同組合ならびに全国共済農業協同組合連合会島根県本部・(財)農協共済福祉事業団より交通事故撲滅運動に役立ててほしいと、共済事業の資金により交通事故防止機器(道路反射鏡)2基の寄贈がありました。町では、交通安全対策に有効に活

用させていただきます。
有難うございました。



部隊訓練きびきびと

～海士町消防団～

去る9月3日(日)海士町消防団夏季訓練を日須賀地区及び日ノ津港において、団員72名の参加で行われました。

今回の訓練は、部隊訓練(通常点検)と消防器具の取扱に関する基礎知識の習得・体得と小型ポンプを操作し放水訓練を実施。消防操法の初歩的な取り組みを若手団員は真剣な面持ちで取り組んだ一日でした。町



民の生命と安全を守るために迅速で正確な対応が期待されます。

全国交通安全キャラバン隊来町 メッセージ伝達式



赤水会長からメッセージ伝達を受ける
澤田副町長

島根県交通安全母の会は、家庭における母親の交通安全に果たす役割は大きいと考え、「交通安全は家庭から」を活動方針として(社)全国交通安全母の会連合会と共催し県内各地でキャンペーンをし、交通安全に対する意識の高揚と普及に努めています。

去る9月3日には、交通安全を呼びかけながら全国各地を回るキャラバン隊が島根県入りし、県庁前で出発式が行われたのち、翌4日に来町しました。このキャラバン隊は、内閣府中央派遣隊員と各県内の交通安全母の会会長、母の会連合会事務局会員、県担当職員ら6名で組織されているものです。当日は、隠岐開発

総合センターにおいてメッセージ伝達式が行われ、内閣府特命大臣からのメッセージを母の会の赤水照子会長から澤田副町長に伝達されました。また、セレモニードでは、キンニヤモニヤ保存会の皆様、三味線、太鼓の生演奏で郷土民謡キンニヤモニヤを交通安全にちなんだ替え歌に合わせ踊りを披露しました。

その後、社会福祉法人けいしょう保育園を訪問し、母の会会員による「交通安全」の紙芝居やお土産が配られ、和やかな雰囲気の中でキャラバン隊の方々との交流を深め、園児たちに交通安全の呼びかけを行いました。



けいしょう保育園にて紙芝居で交通安全を呼びかける

島根県トラック協会隠岐支部 交通安全の表示板寄贈



けいしょう保育園下に設置された看板。ドライバーの皆さん安全運転をお願いします。

島根県トラック協会隠岐支部(副支部長千田一美さん)より社会貢献事業の一貫として交通安全に役立ててほしいとのことで、この度、交通安全立て看板7点の寄贈がありました。

設置場所については、今春、社会福祉法人けいしょう保育園が北分地区に移転した、周辺道路の環境を考慮して設置しました。これを機に運転手と園児たちが交通安全に対するマナーを身につけること等交通安全対策に有効活用させていただきます。有難うございました。

豪雨災害



裏山の崖崩れで土砂被害を受ける宇受賀住家

去る8月30日から31日にかけて大雨により隠岐の島町と西ノ島町が大規模な被害を受けました。隠岐の島町では那久地区で131ミ、西ノ島町では美田地区で98ミという近年まれに見る驚異的な時間雨量が観測されました。

海士町では、大規模には至りませんでした。菱浦・宇受賀・北分・東の4地区に住宅の半壊、床上、床下浸水や道路では、県道、町道、林道の法面崩壊や、住家裏山の崖崩れ等の被害はあったものの、幸い人的な被害はありませんでした。

町内被害状況（海士町把握分）

被害種別	件数	摘要
家屋半壊	1	北分
床上浸水	2	菱浦、宇受賀
床下浸水	4	宇受賀、東
住家裏崖崩	17	宇受賀(9) 北分(7) 東(1)
道路法面崩	3	



裏山が崩れ土砂が床下へ流出宇受賀地区住家

島根県では8月30日からの大雨災害による、被害情報の収集分析を終え、県下において本格的な支援活動を行っています。被災者の皆様には心からお見舞い申し上げます。

トヨタ財団 2007(平成19)年度 地域プログラム 離島助成のお知らせ

トヨタ財団では、離島地域社会の再構築と活性化を目指し、地域に根ざした実践的な活動を行っている離島住民の皆さんを支援する助成事業です。

平成18年度は商品開発研修生であった後藤隆志さんの提案したフェアトレード Sakura no Ie ブランドの構築が助成対象となり、持続可能な組織を構築し、商品開発をきっかけに交流を生み深めることで商品の付加価値を高めていくことを考えこの制度を最大限に生かし取り組んでいます。トヨタ財団では、今年度も『地域社会プログラム 離島助成』を離島住民の皆さんに募集を呼びかけています。下記の要項をご覧になり是非ご応募下さい。

応募要項

1. 応募資格

北海道、本州、九州の四島以外の島で実施されるプロジェクトとします。
原則的に、実施主体は、島民が中心となったグループとします。

2. 対象となる活動

基本テーマ「地域社会の再構築を目指して一支援あうくらしといのちー」のもと、実施される以下のような活動です。

- 【例】(ア) 伝統的な文化や島の魅力の再構築と島外への情報発信
- (イ) 高齢者や障害者の福祉の増進
- (ウ) 島と島、島と本土など、外との交流の促進

3. 助成金

本年度の助成金総額は、1500万円。1件あたりの助成金の上限は200万円。

4. プロジェクトの実施

- (1) 実施期間は2008年4月1日から2009年3月31日の1年間とします。
- (2) 助成団体は、トヨタ財団と覚書を取り交わし、これに基づいて活動を実施していただきます。
- (3) 助成団体には、プロジェクト終了時に報告書を提出していただきます。

5. 募集期間 2007年10月1日から11月20日(当日消印有効)

6. 選考方法・結果

「地域社会プログラム選考委員会」にて、書類審査(選考)の上、2008年3月のトヨタ財団理事会において決定します。選考結果については、理事会終了時に「連絡責任者」宛に文書にて通知します。

7. 応募用紙申込み・応募先

〒163-0437 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル37階 私書箱236号
財団法人トヨタ財団 地域社会プログラム係・離島助成 TEL 03-3344-1701

第43回近畿海士後鳥羽会盛會に

故郷に想い馳せて



第43回 近畿海士後鳥羽会総会

ラオケで会場は盛大に盛り上がりました。

また、お楽しみ抽選会等盛りだくさんの催しがあり、ふるさとへの熱い想いと尽きることない昔話にあつという間に時が経ち、なごりおしくも盛會に終える事ができました。

今年は何元から、産業興しのひとつとなつている今話題の『隠岐牛』を提供し、出郷者の方々にも味わっていただきました。そして多くの方々から「おいしい、柔らかい」と好評を得ることができました。また、地産地商課の職員が海土産としてひかり、塩羊羹、福来茶等々

近畿海士後鳥羽会総会が9月30日(日)大阪太閤園別館ガーデンホールで行われました。

この会は、会員相互の親睦をはかり郷土の発展に寄与しようという目的で、年に一度開催されているものです。当日は、近畿圏域から100名余りの方々が会場に訪れ、総会、そして懇親会が行われ久しぶりに会う仲間とふるさとの思い出に浸る一時となりました。懇親会では、隠岐民謡や力

ふるさとの特産品をもって会場へ行き、たくさんの方々にご購入していただきお陰様ですべて完売させていただきました。ありがとうございます。ありがとうございました。

会員の皆様のご健康と近畿海士後鳥羽会の益々のご発展を心よりお祈り致します。

◆◆第43回近畿海士後鳥羽会からのお礼◆◆
過日、9月30日の第43回近畿海士後鳥羽会に公私共にご多忙中にも関わらずご出席を賜り誠に有難うございました。

恒例の総会は、雨天にもかかわらず昨年以上の100余名のご参加で盛會となりました事は、皆様のご協力のお陰と世話役一同感謝致しております。

時の人海士町長山内様、他役員より5名、海士町より商工会、観光協会、連合婦人会、(株)ふるさと海士、島根県議会議員門脇様、隠岐神社宮司、近畿各地区ふるさと会各々代表者の皆様には、ご参集頂き乍らご祝儀まで頂戴いたしましたこと有り難く心よりお礼申し上げます。また、マリンポートホテル海士宿泊券、海士乃塩、海士のお酒を頂きました事も重ねてお礼申し上げます。早速、会員の抽選会に当てさせて頂き喜んで顔が忘れられません。海士町よりのPRの品々も、皆さんに大好評で何よりと我々一同も喜びあつた次第です。その内海士生産の隠岐牛をご馳走になつて、その美味しさにまた驚き「何処へ行けば食べられるかいなあ？」等のお話も尽きない一時でした。この様な楽しい会も皆様のご協力あつての事、今後共よろしくご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

『離島発生き残るための10の戦略の本では崎の門山様と同じく我々近畿海士後鳥羽会会員も感動を受けました。テレビ、新聞に隠岐の事が出れば、ふるさとを思う出郷者には、海士町のご苦労に頭が下がります。一年に一度のこの会は海士町からの応援がよく聞こえる日でもあります。本日は海士町を応援する立場にありながらいつも逆に励まされてまいります。』

皆様からそして故郷海士町からの応援を頂き、これからも近畿海士後鳥羽会を継続させる責務を感じた次第です。最後になりましたが時節柄ご自愛の上、益々のご活躍されます事をお祈りいたします。

平成19年10月吉日

近畿海士後鳥羽会

会長 石田信行

(*文章は抜粋させていただきました。)



第43回 近畿海士後鳥羽会総会

合格おめでとう!

全国珠算学校連盟珠算・暗算・合格者(9/30実施)

第28回珠算検定合格者

3級 真野 海成(北分)

6級 佐伯 良太(東)

7級 久保 鈴夏(北分)

8級 真野里帆奈(北分)

第204回暗算検定合格者

4級 藤田 大貴(宇受賀)

竹谷 波(豊田)

仲島 大揮(御波)

佐伯 良太(東)

6級 久保 鈴夏(北分)



第37回 海士町産業文化祭

～環境を考えよう～

10月27日、28日の2日間にわたり農協店舗前、役場、開発総合センター周辺を会場に恒例となった産業文化祭が開催されました。初日、朝早くから地元農産物、加工品の販売を待つ人で賑わい、また、開発センター内の作品展示コーナーでは、手芸、俳句、書道等、芸術、文化かおる秋の催しとなりました。そして、今年は『～環境を考えよう～』をテーマに、今、静かなブームをよんでいる「風呂敷」に注目し、エコバックとして利用したり、様々な用途に合わせた包み方、またファッションのワンポイントにするテクニックなどを学んだり、布ぞうり講習、また体験コーナーでは竹細工で“マイ箸”“マイコップ、スプーン”など、楽しく『エコ』（環境）を実践することを学んだ一時でもありました。

2日目は、畜産競親会で畜産農家の皆さんの手塩にかけた牛を品評し競いました。その背景には、生産者同士の繋がりや交流が深まり畜産農家のますますの発展が期待されます。

お昼からは芸能祭が催され小学生から大人まで14団体がエントリーし自慢の腕前を披露し会場を盛り上げました。来年もまた、たくさんの町民が参加しそして交流の深まる産業文化祭になることを期待します。



マリンエコーの皆さん今年も素敵な歌声を響かせてくれました。

かわず会の皆さんの初舞台。和太鼓の勇ましい姿に拍手喝采でした。

勝田会の皆さんによるチャリティー呈茶。今年も楽しみにたくさんの方々が訪れました。



昔なつかしい草履！今では、インテリアに、また健康のためにも見直されています。今回は布を使ってカラフルな草履を『東寿会』の皆さんに出品していただきました。

チェーンソーを使って丸太をアートする。チェーンソーアーティストの永井俊幸さん(愛媛県出身)。見事な機械裁きに魅了しました。出来上がった作品は小学校、役場、中央公民館に展示しています。

風呂敷講座にて。カラフルな風呂敷は、包むだけでなく帽子としてかぶったり、バッグになったり、ファッションブルに大変身！

NPO法人だんだんより

賛助会員大幅増に

先に回覧板にてお知らせしておりました賛助会員の募集につき、9月末現在、新規加入者が98名の大幅増で、合計461名となりました。

さらに今回は、賛助会員から正会員になった方がいたこと、寄付者が11名増の54名になったこと(計92、000円)など、うれしい点がみられました。こうした傾向は、それだけ年々この趣旨が理解され浸透されつつある証拠であり、大変心強く、また感謝に絶えません。

これも各理事をはじめ各区の世話人のご尽力によるところ大であり、ここに改めて厚くお礼申し上げます。ちなみに正会員は42名、団体会員は3団体です。

障害をもつ者にとって最も必要なことは、彼等を取巻く地域の皆様の理解と協力であり、また、それが何よりの励みであります。どうか今後一層のご支援をお願い申し上げます。

「さくらの家」増築

来春完成

この度、国の基盤整備事業に係る障害者自立支援対策交付金(2、000万円)として、本町の作業所「さくらの家」の増築が承認されました。

早速、設置場所、設計等につき検討を重ねた結果、場所は人的・物的環境、将来の発展性等から、中央公民館横のテニスコート跡に決まりました。既に入札も終えて近く着工、完成は2月の予定です。

また、この事業を契機として、事務所、厨房、保管室等と更なる増築構想も検討しつつあり、将来への希望が膨らむとともに、ふと「自立・挑戦・交流」そして確かな明日へ「」の本町スローガンが脳裏を過ぎりました。

理事長 田中久夫

研修視察 海士町連合婦人会

〜出雲路を旅して〜

海士町連合婦人会恒例の研修旅行に9月7日〜8日に16名の会員で出かけました。近隣を旅しながら研鑽を積みお互いの親睦交流を深めることが目的です。マイクロバスの車中は賑やかに話しが弾み、キララ多伎でいちじくの特産品を見たりの一時下車をしながら一路大田へ。まもなく大型バスが絶え間なく到着する大森代官所跡の観光バス乗降所に到着しました。ここから

シャトルバスに乗り合わせ、各地からの観光客のお国なまりを聞きながら龍源寺間歩へ。細かく、ひんやりした坑道を戦国時代から世界に広がった銀、それを支え、苛酷な労働に耐えた人々を思いながら歩きました。

赤シャツのボランティアの方に往時の経済の隆盛や自然と共生した産業の話や自然につけ石見銀山が世界遺産登録された価値を深く認識いたしました。坑道の出口付近からささよと流れる小川添いの

遊歩道も灯籠を玄関に置き、歓迎してくれる町並保存地区も心癒してくれるスポットです。そんな古い町中におしゃべりな郡言堂のような店、手づくりパン屋さんなど昔の町並保存と現在のニーズに応えた地域づくりの工夫や急ピッチでの整備の様子がうかがえました。みんなが、一番印象に残ったのは羅漢寺でした。

お釈迦様に従っていた500人

の弟子達の感情、欲望を超越したが未だ仏様になれぬ人間の豊かな表情の500の座像が祀られています。そんな石像に魅せられたのも私達世代の歳のせいかもしれません。

(海士町連合婦人会)



龍源寺間歩。みなさん笑顔でのワンショット

オリジナル看板を設置

～住み良いクリーンなまちに～

海士町環境を良くする会は、空き缶やペットボトル等のポイ捨て、ゴミの不法投棄禁止の取り組み強化、徹底を図る上から当会オリジナルの看板をふれあい環境助成事業並びに海士中学校3年生（平成18年度卒業生）の皆さんにご支援、ご協力により製作する事としこのほど完成しました。

ポイ捨て禁止看板の文言については海士中学校の生徒の皆さんたちが当会の「海士町クリーン作戦」に参加する中で不法投棄の現状を目の当たりにし、住みよいきれいな海士町（故郷）にしたいとの思いが込められた内容となっております。

未来を担う子どもさん達の思いや、願いに応えるべく住み良い環境の海士町づくりに取り組みたいと考えますので、皆様の一層のご協力をお願い申し上げます。

海士町環境を良くする会

会長 片山雅夫



ブレント先生の ～外国人の新鮮な目で海士を見て～

フレッシュ・アイズ・オン・あま Vol.1

海士町に来てもう2ヶ月になつてゐる。ええ！もう2ヶ月！？あつという間に過ぎたが、たくさん経験や思い出が出来て満足だ。2学期と言えは行事がいっぱいあると聞いて本当にそうだと思う。

海士町で生活することに慣れながら、色んなイベントに参加させていだいて海士の温かさをよく感じた。ハワイから来た上、島の者として、やはり島に住んでいる人の考え方は本土に住んでいる人と比較すると違うと思う。島に住むと時間をあまり気にせず、仕事のことでもしなくてもいけないことでもいつでもできるじゃないかという気持ちもあるのではないかと私は思っている。

ポストン大に通っていたときハワイに帰ると時間をゆつくり過ごすことが出来た。海士に来てからはもつとゆつくり過ぎた。その理由は何でしょう。海士には季節がある。たとえば、夏が終わったら夏

の行事や仕事等も共に終わってしまう。ハワイだったら秋になつても夏の仕事が残つていくというところもある。毎日毎日一緒で、知らずに時が経つ。季節がなくてよいこともある。いつでも海に入れるし、天気の良い日も多いだろう。今、私は海士にいます。そしてこの豊かな自然の中で皆さんと同じようにこの島を守る気持ちをわかるようになった。

※ご本人が日本語で書いたのを、そのまま載せています。

ブレント先生の 英会話教室のご案内

★毎週木曜日

(午後7時30分から9時30分)

11月から毎週木曜日に英会話教室を開催しています。お子さんから大人の方まで興味のある方は是非参加してみませんか。

お問い合わせ先

海士町教育委員会 ②-1221

被災された皆様へ（お知らせ）

広島国税局キャラクター



ひろしま ちから 広島 主税 くん

このたびの災害により、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。災害によって住宅や家財などに損害を受けられた方は、次に掲げる所得税の減免等が受けられる場合があります。

- ① 申告・納付などの期限延長
- ② 納税の猶予
- ③ 所得税の軽減又は免除
- ④ 源泉所得税の徴収猶予又は還付 など

◆詳しくは、西郷税務署又は税務相談室におたずね下さい。

また、国税庁タックスアンサーもご利用下さい。

国税庁タックスアンサー <http://www.nta.go.jp/taxanswer/>

議会だより

9月定例会

第49回定例会が9月26日、27日の2日間の会期日程で開催されました。

補正予算4件、条例改正2件、18年度決算認定7件、陳情1件、その他3件の17案件が上程され、町長の提案理由の説明等があり、全員協議会並びに各常任委員会において慎重に審議致しました。その結果、陳情案件、平成18年度決算認定を除き、いずれも可決されました。主な内容は次のとおりです。

■補正予算

▼平成19年度9月補正予算額は、2億8,059万5千円です。
(補正予算内訳)

一般会計	2億7,231万2千円
特別会計	858万3千円

▼補正後の予算総額は下記の通りとなりました。

一般会計	41億4,847万9千円
特別会計	18億8,498万6千円
合計	60億3,346万5千円

主なものは8月末の災害復旧関係約2億円、水産業費の干しな

まご加工施設整備事業7千万円、なまこの加工については、諸課題を精査した上で事業着工を図ることを求めた。

■条例

海士町すこやか子育て支援に関する条例の一部を改正する条例で子育て支援の一環として、本土で出産する者を支援するため隠岐広域連合がレインボープラザに患者等宿泊ルームを整備することにより、妊婦等が負担する利用料の助成を行うためのもので5日間以上宿泊、1泊3千円、個人2千円、町1千円の負担、ただし2親等の親族までに限るとしている。職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例は、職員の12月支給の期末・勤勉手当を給料の減額措置を行わないで支給するためのものである。

■陳情

御波区から町道並びに太井川の改良に関する件の陳情で産業建設常任委員会に付託され、審議の結果継続審議とした。

町政に問う

一般質問



松田修一 議員

AED導入の意向は！

問 松田議員

AEDは自動対外式除細動器と訳されるが、平成16年の法改正で医療従事者以外的一般市民も使用可能になり、人が多く集る所を中心に設置が進んでいる。海士町では多彩なイベントを実施し、町内外から参加者も多い。町民はもとより参加者全員への配慮から万一の事態に備えて、公共施設等必要な箇所へ配置する必要があると思う。導入に向けてどの様な取組みを考えているか伺いたい。

答 町長

AEDについては、性能や効果等も十分承知し、緊急時の救命効果と簡易な操作性を

考慮し、本町でも主な公共施設等に設置したいと思っ

る。一台40万前後という価格を考慮すると、段階的に設置せざるを得ないと考える。今後の導入については、年度内に一台入れたい。その後は順次、予算措置も必要で計画的な導入が必要だと思っ

火災報知器設置の周知徹底！

問 松田議員

消防法改正に伴う火災警報器設置の周知徹底について、伺う。住宅火災による死者の6割弱が65歳以上の高齢者、6割が逃げ遅れによる死者である。消防法改正直後に、火災警報器設置義務化の全戸配布のチラシが過去一回だけで配布以降対策が無く、周知徹底されていない。そこで、町独自の取組みについて聞きたい。基本的には自分の身は自分で守るが大前提で、設置判断は自己責任である。高齢者の焼死者が多い事を考えて、後期高齢者・独居老人世帯へ補助金・助成金で優先的に設置す

る考えは。また将来的な展望は。

答 町長

火災報知器は、平成23年6月1日から全ての住宅について設置が義務付けられ、新築は既に義務付けられている。この周知こそが大事で、財政面より、こと人命に関する問題で、自分の命は自分で守るが基本だと考える。高齢者で負担能力のない方には何等かの方策は講じたい。一方で普及にも取組みたい。非常備消防団・広域消防とも相談し、庁内的な詰めをし、具体的方向性を出していきたい。

高規格救急車・救急救命士の配置への取り組み！

問 松田議員

高規格救急車の配置と、救急救命士の増員に向けての取り組みを伺う。救急現場における救急業務の高度化・搬送途中の初期治療の重要性から、搬送中に高度の救急処置のための設備の充実した高規格救急車・救急救命士の配置が各地で進められる中、島後には

高規格救急車が配置されているが、島前には配置されていない。24時間配置体制は町独自で実施する事は不可能で、関係部署と連絡を密にするなど、前向きな考え方は。

答 町長

高規格救急車と救急救命士の問題については、セツトの問題で、広域連合でこの問題に取り組んでいる。いつも問題になるのは島後と島前の間で命に格差があつてはならないが、しかしながら、全体的な事を考えると非常に費用を要すること。訓練にも期間も要し、広域連合もやり繰りに苦慮している。9月現在で11名の救急救命士が隠岐管内に居る。

海士にも一台高規格車が必要だと言う事は当然要望している。一方資格取得の訓練に期間を要するので一気に資格を取らせる事は出来ない悩みもある。命の格差があつてはならないので、海士町の要求は一刻も早く実現させたい。



波多紀昭 議員

財政健全化とまちづくりへの対応は！

問 波多議員

先の通常国会で「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」(略称健全化法)が成立。夕張市の教訓を生かし、財政破綻を早めに食い止めようという、未然防止策と理解する。「夕張ショック」は全国の自治体に衝撃を与えたことは記憶に新しい。

健全化法の仕組みは、自治体の本体(一般会計)だけでなく、公営企業(特別会計)や外郭団体、第三セクターまで総合した財政状態をチェックしようというものだ。企業でいえば、連結決算主義である。連結ベースで財政状態を把握し、見えにくい借金や赤字を早期に見出し健全化を促すものだ。それには4つの指標が用意された。財政規模に占める毎年の「赤字」の比率

と「借金」の重みを示す指標だ。指標の一つでも基準より悪化したら、イエローカードだ。更に悪化したらレッドカードが出る。指標の2つが先頃新聞発表になった。「連結実質赤字比率」と「実質公債費比率」だ。県下21市町村の苦しい財政事情が浮かび上がったが、町長はこの2つの指標数値をどう受け止めたのか。またこのような状況が推移したとしても本町の将来の財政運営に問題はないのかどうか伺う。

答 町長

本年8月に公表された2005年度の県内21市町村の連結決算であるが、普通会計では21市町村がいわゆる一般会計では黒字だが、しかし、公営事業会計(特別会計)を連結したいわゆる「連結実質赤字比率」では、松江市、飯南町及び西ノ島町の3団体が連結赤字となった。「実質公債費比率」では、本町は20・3%で、江津市、益田市に次ぐ、3番目に良好な数字である。お手元に海士町一般会計中期財政計画推計いわゆる平成25

年まで策定したものであるが、現段階の推計では、現在の基金約6億円を減らすことなく、収支バランスを確保した計画となっている。また、簡易水道、下水道事業特別会計の健全化計画では、平成28年度まで、一般会計からの繰出しにより収支均衡が可能と見ている。従つて、本町は健全化法の4指標すべてをクリアしており、今後「行財政改革大綱」

「行財政改革集中改革プラン」そして「第2次定員適正化計画」を着実に実施すれば赤字再建団体への転落は心配ないと考えている。

ポスト「過疎法」の改正、延長を期して

問 波多議員

1970年に初めて施行されて以来、過疎法は名称を変えながら、3回にわたり延長されてきた。第4次に当たる現在の法律は2000年〜09年度の期限立法で、09年度限りで期限切れとなる。

県下市町村、押し並べて、その恩恵を受け続けてきたが、過疎を食い止める成果はほと

んど挙がついていない。人口は減り続け、高齢化は更に進む。人口減少、少子高齢化、地域産業の衰退、地域格差の拡大、医師不足や限界集落という新たな問題もここに来て発生している。

そこで町長は、県町村会副会長の要職から、ポスト過疎法に向けて先頭に立つて進める立場と思うが、今まで多大な財政資金を投じたにもかかわらず、なぜ成果が上がらなかったのか。成果を上げるためにはなにを改善していけばよいのか。そして、町長としてその検証と新たな理念についてご見解を伺う。

答 町長

過疎法は、10年間の期間を限った期限立法で、まさにその期限が迫っている。3回にわたつて、延長されてきたわけだが、ご指摘のように実際に中身の検証を踏まえつつ過疎対策の新たな理念の構築が求められている。一方では限界集落の増加が予測されるなど、国の立場からいうと何をしているかという正直指摘もある。

しかし、同法の原型は島根県が仕掛けた法律でもあり、島根県過疎地域対策協議会では、過疎中山間地域対策研究会を立ち上げ、地方6団体、全国過疎連盟、県とも連携しながら、新制度に向けた取り組みを鋭意展開している。先月には、島根版提言を先行して、地方の意義というか、素案をまとめ、9月4日、関係市町村と県議連と上京、総務省幹部と過疎対策について意見交換会を行い、政府・与党が協調して新制度を作っていくべきだと提言した。

11月末には関係組織上げて国会、総務省、自民党本部に要望活動をかける予定にしている。今後とも過疎法の制定延長について精力的に取り組んでいく。

11月末には関係組織上げて国会、総務省、自民党本部に要望活動をかける予定にしている。今後とも過疎法の制定延長について精力的に取り組んでいく。



中村等光 議員

株ふるさと海士の経営状況について

問 中村議員

ふるさと海士は、キンニャモニャセンター、塩事業、CAS事業の3部門で事業展開がなされているが、キンニャモニャセンター及び塩事業は、まずまずの営業実績を上げているがCAS事業に問題があると思う。

中小企業診断士の診断ではふるさと海士の経営の円滑化のためには、資金の確保、計画の見直し、プロの人材の確保の3点を指摘されている。資金の面では5月臨時議会で1億5千5百万円の増資を認め、当初からの資金を併せて2億5千5百万円の莫大な資本金となっている。事業開始4年、平成19年度上半期の決算見込みを伺いたい。

答 町長

中小企業診断士の指摘事項

については取締役会で懸命に取り組んでいる。上半期の実績は9月20日現在で、ほぼ目標達成に近い実績をあげている。塩は新商品のブレンド塩が、爆発的に売れたことが目標を大きく上回る要因であった。

実質稼働2年半、今後消費者のニーズ等を踏まえた商品開発等にも力を入れ会社挙げて努力していく考えである。

(参考資料) 株ふるさと海士 3部門の上半期の実績

	年間目標	上半期実績	上半期目標比
キンニャモニャセンター	7,500万円	4,593万円	96%
塩事業部	600万円	535万円	136%
CAS事業部	6,600万円	3,184万円	97%
合計	1億4,700万円	8,312万円	98%

問 中村議員

中小企業診断士から、ふるさと海士の経営改革のために財務と販売のスペシャリストを採用し定期的な指導監査体制をとることが大事だと指摘されているがその人材確保はどうなっているか。

答 町長

人材については、いろいろな人脈を通して探しているがふるさと海士に合った人が今のところ見つからないのが現実である。

問 中村議員

CAS事業が軌道に乗らない今、ツルアラメ、干し物工場、干しなまこ工場等、次々と企画立案するがCASに的を絞り足腰の強い地場産業として確立すべきと考えるが町長の考えを伺う。

答 町長

漁業全般の振興を考えるとCAS以外の挑戦も必要であると考えている。

国民年金記録の納付記録について

問 中村議員

国民年金の保険料納付記録は残っているか。また、年金保険料の着服、横領等の事案はないか。

答 町長

年金保険料の納付記録は残っている。また年金保険料の着服、横領等の事案は発生していない。



花岡美近 議員

港湾の管理について

問 花岡議員

海士町の港湾施設条例によると、港湾施設を利用するのは、利用目的、期間その他施設の管理上必要な条件を付して、町長が許可し使用料を納付することになっている。岸壁や野積場の利用について、管理が不十分な港湾がある。利用許可の現況と管理の状況について伺う。

答 町長

町管理の港湾施設は6港。港湾施設を利用する者は、町長の許可を受け規定の使用料を納付することになっている。岸壁又は栈橋の利用については、5トン未満の船舶、公用の船舶は使用料免除となっている。使用許可の状況だが、日の津港については、野積場は養殖事業者を利用許可を行っている。同事業者の利用許可は平成19年8月までで、

現在撤収を進めている。
 諏訪港（横畑地区）については、公共事業資材の陸揚げのための施設として、地元建設業者へ優先的に利用許可をし、条例に規定する利用料金を徴収している。

今回、利用状況を再度確認したところ、特に不適切な利用が見られた港湾は、諏訪港で、利用許可申請がないまま長期的な利用者が多く、港湾管理条例による管理が十分行われていないのが現状である。早急に放置物件の所有者の確認、放置物件の撤去等の手続きを急ぎ適切な管理を行いたい。

地区集会所のバリアフリー化について

問 花岡議員

バリアフリー化が実施されている地区集会所は、菱浦、中里地区等で、多数の集会所では段差があったりスロープはあるものの玄関の間口が狭いうえに、階段との距離が少ないため車椅子の利用者は、大変危険であり安心して利用することができない。高齢者

や身体障害者が公共施設の利用制限を受けている。早急にバリアフリー化を図り誰もが安心して安全に利用できるようにしていただきたいが。

答 町長

集会所に人が集まるのは当然であり、バリアフリー化は大事だ。建設段階でバリアフリーの設計が入っていないのは今もって残念。逐次改善も必要だと思う。これについては、各地区で計画をしていただけから町からの助成制度もこれから考える。教育委員会を通じて各地区に取り組みよう働きかけたい。

視察研修報告

～大分県なまこ加工施設～

10月14日～17日海士町議会

議員8名と大江産業創出課長の計9名の参加で、大分県の東部海岸（別府湾・佐賀関半島・臼杵湾）における「干なまこ」の加工事業について、事業の立ち上げ前の予備的知見調査のため現地視察（半額自己負担）を行った。

既報の通り、本町の「干なまこ」の企業化については、高齢化の進む漁業の後継者育成と地域の活性化につなげたいと「周辺海域で採れるなまこを干なまこにして特産化しよう」という動きから、町としてもハード・ソフト両面での支援を視野に入れて、このたび補正予算を9月議会に提案し、可決されたところである。

議会としても、地場産業の育成、活性化をめざす特産品の開発・生産・販売する、いわゆる「ものづくり型」事業を進める観点から、①新たな産業の芽生えに対し、どう支援するのか。②地域を支える産業人材をどう育成するのか。③販売高の減少に伴う、漁協経営の不安定化にどう対処するのか等々論議を重ねていたところである。

今回の「干なまこ」の加工生産及び販売についての研修は、日頃の考え（理念）の共有化、当該事業の目的（成果）、目的達成のための経営体制導入事業のポイント、資源保護、新商品の生産開発、販路開拓、加工作業の実態検分等多岐に

わたる調査が目的である。この視察で得た調査結果を基にこれからの事業に向けて総合的な判断の一助にしたい。

文責 波多紀昭



編集後記

朝晩、めつきりと涼しくなり肌寒い日が多くなりました。四季の中で、話題の多い季節です。食欲の秋・味覚の秋・読書の秋等々、秋の夜長を欲望に負けて食欲を満たすのも良、読書三昧にふけるのも良。

寒さに向かつての身の回りの準備にと忙しい日々が続きます。

大分県への干しなまこの視察から、帰町しての原稿締め切りまでの忙しい日も一段落して一息入れております。

先般の広報作成研修の成果を紙面に生かして的確に情報をお伝え出来ればと奮闘いたしておりますがなかなか思うに任せません。

一日も早く、皆様方に愛される紙面にいたしますので温かく見守っていただきたいと思います。

文責 松田修一



隠岐郡中学新人大会を終えて

それぞれの部活動で得るものが多かった新人戦。今回の経験を学校生活、次の大会へ生かしていつてほしいと思います。地域の皆様、保護者の皆様にはご支援、ご声援くださり本当にありがとうございます。新人戦を終えてそれぞれのキャプテンからの感想と今後の豊富についてご紹介します。



団体優勝大会三連覇を果した男子テニス部。諦めず最後まで声を出し意気を高め合ったことに勝因有り！

◆男子バレー部 柏原 光

一つのボールをおとさないという目標を持って試合に臨みました。結果は西郷南中に2対1で勝ち、西ノ島中には1対2で負けました。結果は2位でしたが、あきらめずに最後まで声を出し合い、プレーができました。今後の課題は良い雰囲気最後まで継続させ、どんなときもサーブを決めることです。この二つの課題を解決し、さらに良いチームにしていきたいです。

◆女子バレー部 村上千仁

新チームとなって初めての試合でした。試合が始まり、失敗することが多かったのですが、学んだことは、勝負強さと体力が足りなかったことです。難しいボールがくるとあきらめてしまい、ボールをすぐに落とすしまいました。また7人という少ない人数で4試合もしたので、すぐ体力が消耗してしまいました。この二つの課題を、今後の部活動で克服していきたいです。

◆男子テニス部 上村達也

大きな緊張の中、今まで重ねてきた練習の成果を発揮することができ、目標であった個人、団体の優勝を達成することができました。しかし、今回優勝したからといって今後も通用するというわけではありません。さらに上を目指して練習に励みたいと思います。またマナー面でも、海士中生らしい行動を心がけるため、挨拶などもしっかりとしていきたいと思っています。

◆女子テニス部 佐々美咲

出雲地区へ行くことを目標に大会に臨みました。個人戦では2ペア権利を得ましたが、おしくも権利を得ることができなかつたペアもありました。団体戦では、優勝という大きな目標に対してのプレッシャーに負けてしまい、くやし涙を流しました。今後、私達に必要な事は、お互いの声の掛け合いや、周りに対しての気配りです。次に向け、生かしていきたいです。

隠岐郡中学新人大会結果

H 19. 10. 12 ~ 13

▼男子テニス部

【個人戦】

竹村直人・上村達也 組 優勝
 中川慎哉・大脇政人 組 3位
 佐藤太陽・亀原矢喜 組 ベスト8
 (以上、出雲地区テニス出場権獲得)

宮下凱希・熊本大樹 組 ベスト16
 山口大貴・寺沢一将 組 〃
 青山健太郎・葛西輝大 組 1回戦敗退

【団体戦】

1回戦 布施中 1 - 2 海士中

決勝戦 西郷南 0 - 2 海士中
 (優勝：大会三連覇)

▼男子バレー部

第2位 (1勝1敗)

海士中 2 - 1 西郷南中
 海士中 1 - 2 西ノ島中

* 3校共に勝敗、セット率で並んだため得失点差により西郷南中学校が優勝

▼女子テニス部

【個人戦】

佐々美咲・伊藤美咲 組 ベスト8
 千田彩夏・宇野綾華 組 ベスト8
 (以上、出雲地区テニス出場権獲得)

中村優花・吉元麻湖 組 ベスト16
 佐伯茜・仲島愛 組 1回戦敗退
 永海優・子隅菜々美 組 1回戦敗退

【団体戦】

1回戦敗退 海士中 1 - 2 西郷中

▼女子バレー部

第4位 (1勝3敗)

海士中 0 - 2 五箇中
 海士中 2 - 0 西郷中
 海士中 0 - 2 西郷南中
 海士中 0 - 2 西ノ島中

第57回島前陸上競技選手権大会結果一覧

種目	順位	氏名	地区	記録
4年生	100m	1位 沼田 啓佑	中里	15" 4 (大会タイ)
	800m	1位 沼田 啓佑	中里	2' 53" 4
	400mR	1位 福井小学校 (濱中・山崎・佐々木・沼田)		1' 08" 2
5年生	100m	2位 青木 海渡	豊田	15" 6
	3位 松前 丈	御波	15" 7	
	1000m	2位 梅野 丈二	福井	3' 38" 8
	3位 中川 拓海	東	3' 44" 6	
	400mR	1位 福井小学校 (松前・梅野・佐伯・濱坂)		1' 04" 7
	走幅跳	1位 松前 丈	御波	4m02 (大会新)
6年生	100m	3位 佐伯 良太	東	3m75
	3位 中川 拓海	東	3m53	
	100m	3位 松田 直也	宇受賀	15" 1
全学年	400mR	1位 海士小学校 (真野・松田・山戸・藤田)		1' 00" 9
	走幅跳	1位 真野 航大	北分	4m01
一般 男子	100m	1位 岡本 貴志	菱浦	12" 3
		2位 吉元 翔汰	高1・菱浦	12" 4
		3位 万代 勉	中里	12" 5
	400m	1位 竹村 隆二	高1・福井	58" 0
		2位 高橋 政成	中2・東	1' 00" 9
		3位 福島 海	高1・西ノ島	1' 01" 3
	1500m	1位 竹村 隆二	高1・福井	4' 58" 3
		2位 山中 雄介	中3・北分	5' 01" 5
		3位 堀川 遼太郎	高2・西ノ島	5' 06" 6
	400mR	1位 島前高B (関田・中川・竹村・吉元)		49" 4
		2位 島前高A (福島・保野・佐々木・日当)		51" 2
		3位 海士体協B (戸鳴・磯谷・宇野・万代)		52" 4
走幅跳	1位 吉元 翔汰	高1・菱浦	5m47	
	2位 保野 大地	高2・東	4m84	
	3位 岸築 昇吾	高1・崎	4m73	
走高跳	1位 関田 祐輔	高2・西ノ島	1m53	
砲丸投	1位 宇野 信之	中3・北分	8m99	
	2位 宇野 貢	高2・北分	8m74	
	3位 中村 誠	中里	8m51	

種目	順位	氏名	地区	記録
3年生	100m	1位 佐藤 光輝	東	17" 0 (大会タイ)
	2位 中川 美希	東	17" 4	
	3位 磯谷 結加	中里	17" 5	
400mR	1位 海士小学校 (佐藤・真野・久保・中川)		1' 13" 1 (大会新)	
	2位 福井小学校 (若本・佐伯・宇野・磯谷)		1' 14" 9 (大会新)	
4年生	600m	2位 藤田 真帆	宇受賀	2' 19" 2
	400mR	2位 海士小学校 (宇野・瀧川・柏原・藤田)		1' 15" 4
5年生	100m	1位 戸鳴 亜美	保々見	16" 1
	2位 海士小学校 (高橋・竹谷・浮田・山戸)		1' 09" 5	
	400mR	3位 福井小学校 (戸鳴・岡村・磯谷・高橋)		1' 10" 3
走幅跳	1位 高橋 芽生	宇受賀	3m76	
	2位 戸鳴 亜美	保々見	3m70	
6年生	100m	1位 宇野 由希	北分	16" 1
	2位 佐藤 真理愛	東	16" 6	
	800m	3位 佐藤 真理愛	東	3' 07" 8
400mR	1位 海士小学校 (佐藤・宇野・波多・倉上)		1' 07" 8	
	走幅跳	1位 宇野 由希	北分	3m73
全学年	走高跳	3位 波多 綾香	東	2m90
	走高跳	1位 澤井 帆希	菱浦	1m16
一般 女子	100m	2位 山下まどか	高2・西ノ島	1m10
	1位 山下まどか	高2・西ノ島	14" 7	
	2位 永原 久子	高1・福井	15" 7	
400mR	3位 村井 春香	高1・菱浦	15" 7	
	1位 海士体協 (佐々・仲島・宇野・村上)		59" 5	
	2位 島前高D (角・尾崎・村井・福浦)		1' 01" 4	
走幅跳	3位 島前高B (山下・竹中・藤田・上田)		1' 02" 5	
	1位 尾崎 美咲	高1・福井	3m92	
	2位 松前 蘭	高1・御波	3m91	
砲丸投	3位 山下まどか	高2・西ノ島	3m89	
	1位 藤田 幸子	高1・豊田	7m02	
	2位 福浦 晃子	高2・西ノ島	6m95	
3位 近藤 由美	高1・西ノ島	6m70		

第57回島前陸上選手権大会
9月16日、海士中学校グラウンドを会場に、第57回島前陸上選手権大会が行われました。島前3町村の小学3〜6年生と、中学・高校・一般の総勢225名の選手が、トラック競技7種目、フィールド競技3種目で競い合いました。



4年男子100m大会タイ記録を出した沼田啓佑くん(福井小)



第27回ちびっ子相撲大会成績一覧表

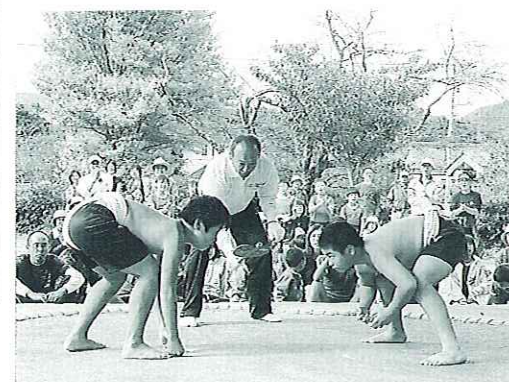
(所属子ども会名)

種目	1位	2位	3位
1年	女子 本多かずみ (菱浦)	片桐 愛南 (福井)	池田 綾乃 (菱浦)
	男子 中村 勇士 (中里)	磯谷龍太郎 (中里)	小田川天馬 (崎)
2年	女子 小林 七瀬 (北分)	澤井 諒華 (菱浦)	万代 涼 (中里)
	男子 波多 瑞月 (東)	真野 拓哉 (福井)	戸鳴 巧貴 (保々見)
3年	女子 浜板日陽里 (菱浦)	佐伯 京香 (中里)	磯谷 結加 (中里)
	男子 高橋 利旗 (崎)	池田 拓斗 (菱浦)	中村 航太 (中里)
4年	女子 佐々木梓沙 (福井)	柏原 礼奈 (宇受賀)	藤田 真帆 (宇受賀)
	男子 沼田 啓佑 (中里)	山崎 竜星 (菱浦)	竹中慎之介 (宇受賀)
5年	女子 磯谷 千華 (中里)	戸鳴 亜美 (保々見)	山戸 莉緒 (豊田)
	男子 中川 拓海 (東)	松前 丈 (御波)	本多 智流 (菱浦)
6年	女子 宇野 由希 (北分)	澤井 帆希 (菱浦)	佐藤 真理愛 (東)
	男子 渡辺 優人 (福井)	岡村 貴司 (御波)	松田 直也 (宇受賀)

敢闘賞 女子 沼田紗也加(中里)2年

敢闘賞 男子 澤谷 孟 (東) 1年 真野 航大 (北分)6年 上村 敏貴 (西)6年

この日のために、子ども達は放課後各地区で集まって、地域の大人から教わりながら練習を積みました。土俵では豆力士達の元気なぶつかり合いや、観客も思わず力が入ることに対戦しました。



第27回ちびっ子相撲大会

10月14日隠岐神社相撲場
隠岐神社秋の例大祭に合わせ、「ちびっ子相撲大会」が奉納されました。この奉納相撲は、毎年海士町子ども会連絡協議会が主催しており、町内の各地区の小学生が一同に集まって、男女に分けて学年ごとに対戦しました。

名勝負が次々と繰り広げられ、境内の常設相撲場には、休日で大勢つめかけた保護者や観光客の声援が、秋空の下賑やかに響いていました。

海士中学校エコ改修検討会 最終回！ ～こんな学校だったらいいな～



10月2日、3日。海士中学校において、海士中の未来を考える『学校エコ改修プロジェクト』が行われました。設計者、地域の方、行政、先生方、そして中学校3年生の総勢約60名が集まり、海士中の未来を考えました。設計者の中に入って一緒に学んできた中学校3年生達の積極性と成長ぶりが印象的でした！みんなの意見を反映し、素敵な海士中学校にしたいと思います。

海士中学校エコ改修設計提案審査会 ～設計者を選びます～

いよいよ、検討会に参加していた設計者達が彼らの能力を出し合って戦います！それぞれの設計者が「改修の案」をプレゼン。海士町民と専門家によって構成される「審査員」によって、海士中を設計する一社選びます。公開審査であり、小学生、中学生、地域の方まで誰でも見学が可能です。ぜひ未来の海士中を見に来てください！！

日時：11月17日（土） 場所：開発センター

問い合わせ：海士町教育委員会 学校エコ改修事務局 井上さやか

放送大学4月入学生募集！

放送大学はテレビなどの放送により授業を行う通信制の大学です。働きながら学びたい、生涯学習に興味があるなど、様々な目的で、幅広い世代の方が学んでいます。

ただいま平成20年4月入学生を募集しています。詳しい資料を無料で送付しますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

○募集学生の種類

◆教養学部

- 科目履修生（6ヶ月在学し、希望する科目を履修）
- 選科履修生（1ヶ月在学し、希望する科目を履修）
- 全科履修生（4年以上在学し、学士の学位の習得を目指す）

◆大学院

- 修士科目生（6ヶ月在学し、希望する科目を履修）
- 修士選科生（1年間在学し、希望する科目を履修）

○受付期間 平成19年12月15日～平成20年2月29日

○資料請求（無料）・お問い合わせ

放送大学島根学習センター
〒690-0061 松江市白潟本町43 スティックル4階
TEL 0852-28-5500 FAX 0852-28-1800

「人権週間」始まる

12月4日から10日までは『人権週間』です。

『人権週間』に当たって、私たち一人ひとりが「人権」について今一度考え、明るく豊かな住みよい社会をつくりましょう。

なお、毎日の生活の中で、これは人権問題ではないだろうかと感じたり、悩みごとや困りごとをお持ちの方は、松江地方法務局西郷支局（TEL 08512-2-0240）又は、お近くの人権擁護委員にご相談下さい。また、週間中に特設人権相談所が開設されますので、お気軽にご利用下さい。

*当町の人権擁護委員は次の方々です。

- 和多田委久さん（福井）②-0575
- 山中 知子さん（中里）②-0658

ふるさと講座掲載について

海士中学校の修学旅行における東京・一橋大学で誇らしくふるさと海士を語る生徒たちの活躍、また、さまざまな本町のイベントで、すばらしい郷土芸能や島前神楽を披露してくれる児童たちの表情から「ふるさと教育」の成果を感じます。

一橋大学や新宿日本語学校との交流がきっかけとなって、現在、多くの若者や外国人が本町を訪れ、また、リピーター(再訪者)となつていきます。その要因の一つには、町内のさまざまな「ひと・もの・こと」を通して触れた「海士らしさ」にあるといえます。

私たちはこれらの交流を通して、私たちが気づかない「海士の魅力」の何と多いことが知らされますが、それはこの島に生きている価値(アイデンティティ)と誇りを感じる時でもあり、「海士らしさ」とは海士のアイデンティティともいえるものではないでしょうか。

隠岐の観光は、年々観光客が減少し、観光客のニーズも観光客から体験や交流の観光へと変化したといわれ、「土地の見知らぬ人からの心地よい挨拶」や「高齢者の伝承技術や知恵のつまった体験談等」ちよつとした会話をさえ和ませ、「地域ぐるみのもてなしの心」が求められているといわれています。

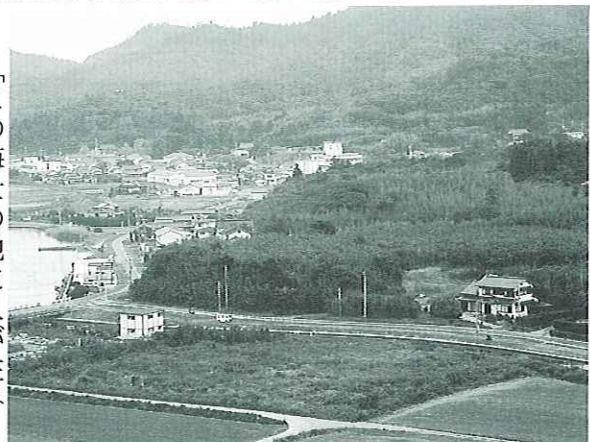
勿論、土地の歴史や動植物の名前を知っていることに越したことはありません。

一古から連続と続く豊かな歴史や暮らしの中で培われてきた文化を地域の宝として再発見、再認識しながら明日に活かしていく―これは昨年、新たなふるさとづくりを目指し、県生涯学習センターが行った「しまねふるさと学」の主題です。

本町教委も「ふるさとガイド養成講座」を兼ね積極的に協賛いたしました。

そこで今号から、歴史(文化財)や自然(動植物)講座を掲載することいたしました。ちよつとした「ふるさとガイド」の参考になればと思います。

第1回 郡山遺跡



「この海士の地に人が住み着くようになったのは、いつ頃ですか」とよく質問を受けます。海士町において人の居住の痕跡がたどれるのは、約五五〇〇年前頃ですと答えると、「えっ、そんな昔から人が住んでいるんですか」と驚かれることが屢々です。

縄文時代の遺跡は、郡山遺跡と北分水源遺跡が知られています。郡山遺跡は、既に戦前から知られた遺跡で、海士町史の執筆にあたられた田邑二枝さんが矢じり(石鏃)や錘(石錘)、石斧等の石器類、

また縄文式土器を採集して判つたものです。これらの採集品(遺物)は、田邑コレクションとして、海士町歴史民俗資料館に展示されていますが、当時の人々の暮らしを知る貴重な品々です。

時代を計る物差しには、土器の発見は欠かせません。

郡山遺跡と北分水源遺跡からは、縄文式土器が見つかり、その特徴から縄文時代の前期頃(約六五〇〇年〜五〇〇〇年前)から中期頃(約五〇〇〇年〜四〇〇〇年前)のものだと判りました。北分水源遺跡の土器は、縄文時代中期頃といわれています。石錘は、網を使った漁撈をしていることが判ります。石皿や磨り石は、椎や栗の実、またどろぐりの実も採って粉にしたのでしょうか。

縄文時代は、狩猟採集の社会だったといわれていますが、最近の青森県三内丸山遺跡の発見などによって、意外と豊かな文化を持った社会だったと考えられるようになってきました。

地した遺跡は、食料資源が得やすく、労働時間とカロリーとの摂取量での現代人(一九五〇年代頃)との比較では、余り変わらないのではないかとこの説もあります。冬も波穏やかな諏訪湾一帯は、大昔からの人の生活する最適地だったかもしれません。

大量の黒曜石の石鏃は何を物語るのでしょうか。島後で採れる黒曜石は、金属器のなかった時代では、モノを切る道具を作る最高の素材でした。島後の黒曜石は、日本の黒曜石の六大産地のひとつです。郡山遺跡は島後く島前く本土を結ぶ中継基地だったので、はという学者がおられ、本土との交流が盛んだったことが推測されます。

(文化財保護審議委員 榊原信也)



黒曜石と矢じり(石鏃)

人間力推進PJの取り組み

人間力推進プロジェクト

チームでは、海士町が永遠に存続し、みんなが幸せに暮らせることをテーマに、町内における様々な課題を整理し、その解決に向けた取り組みを行っています。7月号の広報海士でお示ししたとおり、今年度は、①島前高校の魅力化、②出郷者との協働、③若者の活動支援、④女性の活動支援と4つのテーマを掲げ、それぞれプロジェクトチームを組み、課題解決に向け取り組んでいます。



今話題の『隠岐牛』を堪能

○出郷者と協働チーム
「地元再発見モデルツアー」開催！
出郷者チームでは出郷者の方々に、最近の海士町の取組を知ってもらおうとCAS凍結、岩ガキ春香、海士の塩、隠岐牛などを巡る「地元再発見ツアー」を計画中です。そのモデルとして9月29日(土)に豊田地区の皆さんにご協力頂き、「地元再発見モデルツアー」を開催しました。
当日は、小学生からお年寄



豊田地区の皆さん
地元再発見モデルツアー

りの方まで37名の参加があり、大型バスで町内を巡りました。次々と町内で展開している取り組みを視察することで、頑張っている現場の人たちの生の声を聞くことができ、より身近に感じられたように思います。
参加者のアンケートでは、観光ボランティアの滝中茂さん(崎)に説明して頂いた後鳥羽上皇にまつわる話が一番印象に残ったようです。これもまた歴史の再発見になりました。
また昼食では、この夏、隠岐牛が食べられるお店「島生まれ島育ち隠岐牛店」が開店したことから、皆で「隠岐牛ランチ」を食し、こちらも『思った以上に美味い！』と満足頂きました。
今回のツ

アーでは、『海士に居ながら、こういう施設があることを知らなかった。』『再発見になったこと、町内他地区の方々にも、また来年は出郷者の方々にもご案内できるように準備を進めていきますので、是非ご参加下さい。

○島前高校魅力化チーム

『隠岐島前高校の魅力アップと永遠の発展のために』とプロジェクトのスローガンを考えて下さったのは、隠岐島前高校の田中校長先生です。

今年度から高校の先生方とプロジェクトで話し合いを進めてきた結果、学力の向上、部活動の充実、教育環境の整備、特色魅力づくりなど取り組むべき課題が整理されてきました。

例えば、教育環境の整備では、文部科学省のモデル事業を活用した高校図書館の充実や、西ノ島町・知夫村から通学しやすくするため内航船のダイヤ改正の要



歴史探訪、観光ボランティアの滝中さんの説明を受ける。

望など、すでに取り組みを始めています。
こういった島前高校の魅力アップに向けた動きをこれからは、島前3町村の連携と意識の共有が非常に重要になってきます。
そこで3町村長の間で話し合いが行われた結果、「島前高校の存続問題は島前全体の問題である」という認識が共有され、高校の魅力化に向けて島前の連携組織をつくり、3町村で協力して取り組んでいくということが決まりました。今後は島前高校のさらなる魅力アップと永久の発展という一つの目標に向けて島前3町村の連携も始まっていきます。

隠岐島前高校だより

『学園祭 2007』大成功に終わる

9月1日と3日、「共走～共に走ろう～」をテーマに、学園祭を行いました。9月1日が文化祭、3日に体育祭・後夜祭を開催しました（予定では2日に体育祭・後夜祭としていましたが、2日は大雨・洪水警報が発令されたため、3日に順延されました）。十分な準備期間を与えられたとは言えない中、生徒は休日返上で様々な出し物・デコレーションの準備を行い、学園祭当日には全ての出し物を大変素晴らしいものに仕上げました。また、バザーや模擬店、体育祭に多くの保護者・地域の方々が参加して下さい、この学園祭は「みんなで作った温かいイベント」になりました。様々な面でご協力をいただきました保護者、地域の皆様、本当にありがとうございました。



保育園から小学生も楽しめるストラックアウトのコーナー。前日のバザーもたくさんの方々においでいただき大盛況



体育祭のメインはやっぱりリレー



体育祭醒めやらぬ・・・火の集い

～修学旅行に備えて～

本校では毎年1年生を対象に「研修旅行」を行っています（行き先は韓国）。この旅行の目的は隣国の歴史・文化を正しく理解し、日本人としての視野を拓けること、また、集団行動を通じて、ルールを守ることの大切さを学び、協調性を高めることです。旅行を真の意味で成功させるには、事前学習がとても大切です。生徒達は韓国の歴史（日本と関わりがある現代史を中心に）や簡単な韓国語会話表現を学んでいます。韓国では現地との交流会が行われます。島前高校はキンニャモニャと体育祭応援合戦で行ったダンスを披露します。

10月12日には研修旅行の結団式が行われ、海士町長様にもお越しいただき、励ましのお言葉をいただきました。研修旅行の資金については、島前三町村より援助をいただいております。このような研修旅行を行えるのも、町の協力があってこそです。心より感謝申し上げます。

お知らせ 島根県は医師を求めています！

当県の地域医療を支えていただく医師を募集しています。（特に産婦人科・精神科・麻酔科・小児科・外科・総合医、公衆衛生医など）

●研修サポート

地域で勤務する前に一定期間の研修を受けることが可能です。レベルアップしたい診療分野の研修をサポートします。

☆専任スタッフ（医師）が全国どこへでも出張相談に応じますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

●地域医療視察ツアー参加者募集

将来、当県での勤務をご希望の医師とその家族を対象に開催します。日程やコースはご希望に応じます。（旅費支給）

島根県保健福祉部医療対策課医師確保対策室

TEL : 0852-22-6683

FAX : 0852-22-6040

e-mail: iryou@pref.shimane.lg.jp

お 知 ら せ

しまね子育て応援パスポート事業

『こっころ (Coccolo)』が鳥取県でも利用できることになりました。

この『こっころ』は、子育て家庭に交付したパスポートを協賛店舗に提示すると、その協賛店独自のサービスが受けられるという事業です。11月18日から、鳥取県においても同様な事業がスタートすることとなり、『こっころ』が鳥取県の協賛店においても利用できることになりました。鳥取県で利用できる協賛店は、島根県のホームページで紹介し、協賛店の店頭には『こっころ』のパスポートが掲載されたステッカーが掲示してあります。どうぞ、ご利用下さい。

また、『こっころ』の交付を希望される方は、役場健康福祉課の窓口までお越し下さい。

- 交付対象者 妊娠中の方、または18歳未満の子どもがいる家庭
- 申請手続き 簡単な申請書を記入していただき、その場で交付します。
- 問い合わせ先 海士町役場 健康福祉課 TEL 08514-2-1823 (直通)



自衛隊生徒募集のお知らせ

〈自衛隊生徒の概要〉

陸上自衛隊では、若きエンジニアを養成し、優れた最新装備を駆使できる専門技術者を求めるため、中学校卒業者を対象に採用する制度です。

〈教育及び卒業資格〉

自衛官として必要な防衛教育、各種技術の基礎等の教育や各種訓練などを受けながら、入隊と同時に高等学校の通信制課程に入学し、高等学校の普通科と同等の教育を学び、生徒教育3年修了時には、高等学校の卒業資格を取得できます。陸上自衛官として勤務し、給与等を支給されながら高等学校教育を受けることができます。なお、高等学校（通信制）入学は神奈川県立湘南高等学校です。

- 【受付期間】 平成19年11月1日（木）から平成20年1月8日（火）
- 【応募資格】 平成20年4月1日現在、15歳以上17歳未満の男子で中学校卒業者又は中等教育学校の前期課程修了者
- 【採用試験】 平成20年1月12日（土）
- 【場 所】 自衛隊島根地方協力本部（松江市学園1-1-14）
島根県出雲合同庁舎（出雲市大津町1139）
島根県浜田市合同庁舎（浜田市片庭町254）
- 【合格発表】 第1次合格発表 平成20年1月21日（月）
- 【採用時期】 平成20年4月上旬
- 【問い合わせ先】 自衛隊島根地方協力本部 隠岐の島駐在員事務所
電話 08512-2-8351 へお問い合わせ下さい。 <http://www.mod.go.jp/pco/shimane>

浦郷警察署からのお知らせ

遺失物法が改正されます

遺失物とは、落とし物や忘れ物の取扱方法を定めた法律です。新しい遺失物法は平成19年12月10日に施行され、主な改正点は以下の通りです。

- 1 インターネットで公表され探しやすくなります。
島根県内で取り扱われた拾得物情報が島根県警察のホームページでみるできるようになります。出張、旅行等で他県で落とし物をした場合でも、他県警察のホームページでみるできるようになります。
- 2 保管機関が短縮されます。
これまでに警察に拾得物が届けられた場合、落とし主を探し、また、落とし主からの連絡を待つ期間は6ヶ月でしたが、その期間が3ヶ月に変更されます。また、安価な傘や衣類については、2週間以内に落とし主が見つからない場合は警察署等はそのものを売却することができることとなりました。
- 3 「犬又はねこ」は遺失物法の対象外となります。
「所有者の判明しない犬又はねこ」は動物愛護法の規定により都道府県（保健所）等がこれを引取ることとなります。
- 4 個人情報が入った物を拾っても拾得者に所有権は移りません。
携帯電話やクレジット等個人情報が入った物については、たとえ落とし主が現れない場合でも、拾った人の物になりません。個人情報保護の観点から今回、明文化されました。



島根県最低賃金改正のお知らせ

島根県内の事業場に使用されるすべての労働者に適用される島根県最低賃金が次のとおり改正されました。この金額は、平成19年10月19日以降の賃金から適用されます。

時間額 621円

なお、最低賃金には、①臨時に支払われる賃金 ②1ヶ月をこえる期間ごとに支払われる賃金 ③時間外労働・深夜労働に対する賃金 ④精皆勤手当 ⑤通勤手当 ⑥家族手当は含みませんので注意して下さい。

最低賃金については島根県労働基準部賃金室 (TEL 0852-31-1158) または、松江・出雲・浜田・益田の各労働基準監督署までお問い合わせ下さい。

戸籍の窓

8/10 届出分
(太字は地区在住者)

すこやかに

木綿 壮人くん	宇受賀 浩二
藤田 勇海くん	宇受賀 貴浩
中元 翔子ちゃん	崎 和也

しあわせに

岩本 悠さん	(保々見在住)
鈴木 桃子さん	(保々見在住)
岩本 貴志さん	中里
井村亜紀子さん	西
高松 佳司さん	西
井上 藍さん	崎
杵築 和也さん	崎
秋鹿 奈々さん	崎
石倉 敬祐さん	保々見
戸嶋真理子さん	保々見
平山 錦弘さん	崎
柿谷久美子さん	崎

やすらかに

菰島 悟さん	御波	58歳
渡邊 信子さん	菱浦	80歳
新谷万太郎さん	多井	76歳
扇谷 林一さん	北分	87歳
倉岡 可也さん	中里	69歳
青山 征雄さん	菱浦	69歳
真野 重信さん	菱浦在住	92歳
長見 静枝さん	東	85歳
杵築 慶信さん	崎	60歳
福田 文一さん	菱浦	100歳
小川 秀男さん	御波	81歳
竹中 公人さん	宇受賀	47歳
瀬戸 進さん	御波	68歳
真野ヨシコさん	西	98歳

紙上からお礼

●香典返し

金一封	村上助九郎様 (中里)
金一封	倉岡 誠様 (中里)
金一封	扇谷 善弘様 (北分)
金一封	道橋 哲夫様 (多井)

あくあく海士っこ



城之内 海音くん 11ヶ月
(H18.12.2生まれ)

直也さん・里美さんのお子さん
(豊田在住)

皆さんに助けてもらいながらスクスク成長しています。

このコーナーでは、就学前までのお子さんを紹介しています。写真とコメントを添えてお送り下さい。お待ちしております。

問い合わせ先:総務課広報係
TEL2-0115

金一封	小川カツ工様 (御波)
金一封	菰島 広則様 (御波)
金一封	瀬戸 啓克様 (御波)
金一封	金増 静様 (崎)
●寄付金	
金一封	大森 芳信様 (北分)
金一封	渡部 智久様 (菱浦)
金一封	斉藤千トリ様 (菱浦)
●見舞い返し	
金一封	河濱 清子様 (崎)
金一封	新脇善四郎様 (崎)
●広報郵送料	
金一封	福島ミドリ様 (堺市)
金一封	門野サイ子様 (西ノ島町)
金一封	佐々木あけみ様 (大阪市)
金一封	今石 光良様 (さいたま市)
金一封	秋月 一馬様 (大東市)
金一封	柳野恵美子様 (松江市)
金一封	面野 静男様 (浦安市)
金一封	河村美代子様 (京都市)
金一封	中島 揚子様 (枚方市)
金一封	山口マサ子様 (大阪府)
金一封	片尾 和栄様 (大阪市)
金一封	山下 幸子様 (大阪市)
金一封	中村 敏子様 (大阪府)
金一封	蛭子 正利様 (神戸市)
金一封	坂田登与子様 (大阪府)
金一封	沢田 嘉公様 (海老名市)
金一封	尾崎 寿子様 (大東市)
金一封	山本 勉様 (境港市)
金一封	近藤 忠士様 (千葉県)

寄付のお礼

10月27、28日に行われた海士町産業文化祭においては、たくさんの方の皆様から寄付のご協力をいただきました。

この寄付金については、隠岐開発総合センターの観客用ごさ等の購入に充てさせていただきます。ご協力誠にありがとうございました。

海士町中央公民館



住基法の閲覧に関する実績について

平成18年11月1日から平成19年10月31日までの間の住民基本台帳の閲覧は、海士町社会福祉協議会から一件の申請がありました。

(住基法改正により閲覧の公表が義務付けられました。)

役場生活環境課

住民係